

2021年度 本社工場消防訓練報告書

承認

総務部長
21.12.21
武田

確認

総務課長
21.12.21
丹波

作成

総務課
21.12.17
秋間

2021年11月30日(火) 14:00~14:45

千代田工業株式会社
総務課

消防訓練実施風景 避難報告完了まで **2分31秒** (目標 5分00秒)



サーバー室内で火災を発見し周囲へ知らせる



火災発生を聞いた近くの者は火災を確認し、火災報知機作動操作



消火器を準備する



初期消火活動実施



上司の指示に従い館内放送で避難指示



上司の指示に従い消防署へ通報



本館事務所内避難風景



南_緊急1次避難場所避難状況



プレス棟内避難風景



西_緊急1次避難場所避難状況



第1集成棟内避難風景



東_緊急1次避難場所避難状況



第2集成棟避難風景



北_緊急1次避難場所避難状況



避難報告



1次避難場所へ避難完了後、総合集合場所に集合
今回はコロナウイルス感染拡大防止のため
班長以上に限定

<消防署/総評>

本日の消防訓練で太田消防署飯田様からの気付き事項をいただきました。
 ①初期消火作業時は必ず退路を確保してから行うこと。
 ②消火できなかった火災区画は、密閉(戸締り)して避難すること。
 理由としては延焼防止、火は空気のある方に延びること。
 今回の消防訓練では、火災現場の戸を開けたままで避難してしまった。
 ③消防(車・署員)が駆けつけた時には、
 在席人数と避難人数の差分=逃げ遅れた人数を把握しておくこと。(人名救助)
 以上の点に注意し、次の避難訓練に活かして実施してください。



消防署総評

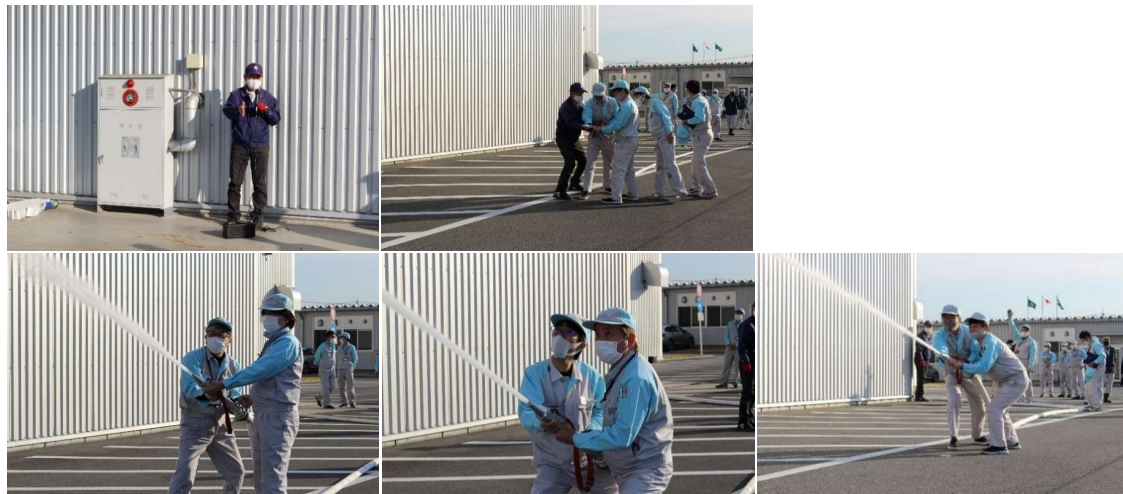
<佐藤部長/総評>

本日は、消防訓練大変にお疲れ様でした。
 また消防署のみなさんもお忙しいところ立会くださり、ありがとうございました。
 今年度のBCP活動の訓練は水害対策でしたが、次回想定するリスクとして
 爆発・火災を対象としており、被災状況に合わせてどのように復旧するのか
 現在マニュアルを作成して訓練を実施する予定です。
 人命を守ることが最優先となりますが、災害後いかに早く事業継続できるか
 というのも重要になります。
 準備できていれば、顧客の信用ができ、会社の価値の維持、向上につながります。
 災害に強い体制を整えて行きましょう。



佐藤部長総評

屋外消火栓による消火活動訓練



- ①ボタンを押すとポンプ起動する。
- ②ホースを伸ばした状態で使用開始する。、バルブを徐々に開放する。(一挙に開放するとホースが振回されて危険)
- ③放水時はノズルをしっかり抑えて補助員として後方のホースを押さえること
- ④ノズル保持者とバルブ解放者はお互いの合図を行い、バルブを徐々に開放し放水を行う
- ⑤本社の放水量は1ヶ所放水使用時で約20分使用可能(2ヶ所時は半分)となっている。

以上